

年月日

19
08
02ペー
ジ

23

NO.

新元号令和が幕開け、来年の東京五輪・パラリンピック開催まで1年を切った。今年から来年にかけて、私たちは時代の証言者として、日本の歴史に残る大きな出来事を目の当たりにしていくことになるだろう。そのような時代のデザインについて、本コラムでは紹介していきたいと思う。

◇ 実は、デザインという言葉がこれだけ広義で使われるようになつたの

家具、車、あるいは住宅、ホテルやオフィスなどの空間デザインもある。モノだけでなく、体験価値などコトのデザインも話題だ。企業の経営に必要な「デザインの力」にも注目が集まっている。私たちの生活はデザインであふれしており、生活を豊かにする上で欠かせないものとなつている。

ノーデザインのチカラ!

(1)



2018年ミラノサローネに出展したソニーは、インテリアに溶け込むデザインのテクノロジー「Hidden Senses(隠された感覚)」を発表(ソニー提供)

は、平成の時代からである。この春、平成30年間を回顧する特集が各メディアから発表されていたが、大きな地震や災害などが多く、どちらかといふとネガティブな言葉が多く見られた。

世界中の情報を瞬時に取得できる情報化時代にふさわしい新しいデザインが数多く生まれてきた。しかしデザインという視点で見ると、とても興味深い時代であつたと私は思ふ。

◆ 実は、デザインといつても、文房具や食器など小さなモノから、洋服、

家具、車、あるいは住宅、ホテルやオフィスなどの空間デザインもある。モノだけでなく、体験価値などコトのデザインも話題だ。企業の経営に必要な「デザインの力」にも注目が集まっている。私たちの生活はデザインであふれおり、生活を豊かにする上で欠かせないものとなつていて、

（みつき・しんいち）
井デザイン
テック・デン
ザインマネジメント部長。16年より、マレーシア国際家具見本市デザインコンペ審査員。欧州での国際ホテルデザインコンペでアジア企業として審査員特別賞を初受賞。海外のインテリアデザインの調査を続ける。

情報化時代にふさわしく

【プロフィル】
見月伸一(みつき・しんいち)

す鏡なのだ。